

わが娘（2児の母）からのつい最近のラインです。

「この動画を見てほしいです。どうしてもお兄ちゃんの番が待てない弟の気持ちです」のコメントとともに動画が添えられてありました。

お休み前の寝室のよう。お布団の上で、パパが絵本を読んでいます。

前には、4歳6か月のお兄ちゃんと、1歳10か月の弟が並んで座っています。

パパが弟に話しかけ、問題を出します。

「〇〇をたべたのは、だれですか？」

弟は指を差します。

パパが「正解」とか言って頭をなでると、超ニコニコです。瞳がらんらんと輝いています。

弟の番が終わり、パパが、お兄ちゃんに話しかけ問題を出すと、

「ギャー」と泣き叫んで後ろに倒れます。

お兄ちゃんへの問題が終わり、弟の名前を呼ぶと、ニコニコで起き上がります。

弟の番が終わり、パパが、お兄ちゃんに話しかけ問題を出すと、

「ギャー」と泣き叫んで後ろに倒れます。

それぞれへの問題タイムは回答時間を含めてわずか数秒なのですが、

弟は、お兄ちゃんの番になると、この世の終わりとはばかりに、泣き叫んで後ろに倒れます。

これが、数回続きました。

実際には、何回だったかは分かりませんが、

わが娘が送ってきた動画では、それぞれ3回はありました。

私は動画を見終え「世の中を知る第一歩です。見てては面白いです」と返信しました。

娘から「私は、この動画お気に入りなんです」とコメントがきました。

私も動画を何度か見てお気に入りになってしまいました。

ふと思ったのでした。自分にも「ギャー」と「この世の終わり」が、何度もあったことを。

動画の弟は「順番」を学んでいます。「世の中には順番というものがある」ということを。「ヒト」は、すぐには「順番」「待つということ」を受け入れられないようです。動画を見て、改めて思いました。

園での生活の中には、「順番・待つ」が、いろいろな場面であります。本園の園児たちは、ほとんどできています。

教育基本法の第1条では、「教育は、人格の完成を目指し、～」とあり、第11条では「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、～」とあります。「順番・待つ」は、まさに人格形成の基礎を培うものです。人格形成の基礎を培うものには、他にもいろいろあると思いますが、幼稚園での最大目標（？）であり、人として、地球上の一員として最も求められることは「なかよく」だと思うのですが、いかがでしょうか？ この「なかよく」は、兄弟姉妹において、家族において、幼稚園において、職場において、外国との関係において、なかなか難しいことは誰もが知っていることです。一朝一夕にできることではありません。でも、「なかよく」ができなかったら、何事もできません。

園では「なかよく」したいために「けんか」をしてしまう園児がいます。1回だけでなく、何回かしてしまう園児もいます。でも、その都度、先生方がお話を聞いてやり、お話をして、なかよくできるよう保育しています。

ちなみに並木幼稚園の園訓は「なかよく あそび あかるい子」です。